

平成27年度川崎商工会議所事業報告の概要

I 事業概要

～総会員数は増、部会・委員会・諸会議も積極的に活動～

1 会員増強の取り組み

平成27年度末の総会員数は5,874件。平成27年度中の加入は350件（退会326件）と、26年度末5,850件から24件の増となった。

2 部会、分科会、委員会で活発な事業を実施

- ・工業部会では福田市長による講演会、氷見との越中寒ブリ懇親会、をはじめ、9部会・9分科会主催の講演会（30回）、視察会（16回）など、会員を交えた活発な事業を実施。
- ・各委員会では、会議9回、視察会6回を開催
- ・女性会、少壮経済人懇談会なども積極的に活動・交流を実施した。



建設工業部会 五反田川放水路視察



Buyかわさきフェスティバルinたかつ



川崎ものづくりブランド認定式(平成27年7月)

II 提案・要望活動

～産業基盤の整備や中小企業の経営環境向上に向けて活動～



福田市長へ川崎駅周辺の活性化に向けたまちづくりに関する要望書等を提出

1 幹線道路等の整備促進

川崎縦貫道路の整備等について、国土交通省、地元選出国會議員、神奈川県、首都高速道路(株)に対して要望活動を実施。

2 川崎駅周辺の活性化に向けたまちづくり要望

JR川崎駅南口改札口の設置、大型観光バス駐停車場設置、東口駅前地区百貨店跡地の表玄関にふさわしい機能の誘導に向けて、川崎市に対して要望活動を実施。

3 中小企業の持続的成長・発展に向けた市条例の実現

「川崎市中小企業活性化成長戦略条例」について、川崎市等に対し積極的な働きかけを行い、条例が可決、施行。

4 税制改正要望

中小企業の活性化に向けた税制改正を国会議員等に要望。

III 会員企業の販路開拓やビジネスマッチングの支援

1 会員全体交流会・支所交流会の実施

- ・会員相互のビジネスマッチング、情報交換、人的交流を目的とした会員全体交流会を開催。出席者461名
- ・各支所交流会を28回実施。



会員全体交流会

2 名産品認定とBuyかわさきキャンペーン

和菓子、洋菓子、工芸品など全96の「かわさき名産品2015」を認定、市内外に紹介・宣伝するとともに、「Buyかわさきフェスティバル」をJR武蔵溝の口駅の自由通路で2回実施した他、市民祭り等、イベントに9回出店。

3 川崎ものづくりブランド推進事業

市内中小製造業の優れた製品や技術を発掘し「川崎ものづくりブランド」として認定。平成27年度は10件の製品・技術を認定し、累計で77件となり、市内外への販売促進活動の強化及び新市場への進出の支援を実施。

IV 中小企業の経営基盤の強化と支援

1 経営改善普及事業の推進

- 各区に設置した7支所を中心に中小企業・小規模企業の経営をサポート。
- ・一般経営相談指導を15,987件、専門相談員による巡回経営指導62件・窓口相談指導196件、小規模事業者持続化補助金申請の受付178件。
- ・小規模企業の低利経営改善資金（マル経）推薦 183件 11億8,060万円。
- ・商店街や業界団体の講習会 延べ80回 970名が受講。

2 中小企業の国際化支援

- ・日本・ラオス外交関係樹立60周年記念事業の一環として、代表団（ラオスミッション）を派遣。記念祝賀会、政財界人との意見交換、投資環境説明会、日系企業視察等を実施。また、同記念事業である日本ラオス合作映画「サーイ・ナムライ」の製作支援を行った。
- ・中小企業海外進出のための国際関係セミナー説明会等を12回開催他、海外への視察及び訪問者の受入、国際関係機関との交流連携を数多く実施。
- ・ベトナム商工会議所、ミャンマー商工会議所連合会の経済協力協定を締結



ベトナム商工会議所との協定締結



アセアン進出対策セミナー
ミャンマー編（190名参加）



平成27年度川崎商工会議所事業報告の概要

3 地域商業の活性化支援

- ・かわさきTMO推進事業
事業者、地元関係者と連携し、川崎駅周辺中心市街地の商業空間の改善と整備促進を図る。
今年度は客引き行為等の交通問題に対応。
- ・商店街の活性化と町の元気へと繋げることを目的に川崎市商店街連合会と連携し、川崎国際音楽祭（各区における地区大会7回、本大会1回）を開催。
- ・地域商店街の音楽等の融合した集客イベントを支援（全20回）するとともに商店街のイベント企画等に「街おこし協力隊」を延べ103件派遣。
- ・大師地区等、市内6エリアを対象に専門家を派遣し、エリアが抱える課題解決への取り組みを推進する「エリアプロデュース事業」を実施



川崎国際音楽祭
(ミュージカかわさきシンフォニーホール)

4 起業家の育成を図るインキュベータを運営

創業・第二創業を目指す起業家が気軽に事業をスタートアップする環境を整えたKCCIインキュベータを運営。平成28年3月末実績（利用者件数42社、うち21事業者卒業）

5 会員事業所の福利厚生支援

会員事業所の事業主や従業員を対象とした特定退職金共済や中小企業PL保険などの共済制度を通じて、福利厚生支援を実施。「特定退職金共済 414事業所」、「業務災害補償 583件」など。また、9会場による「巡回生活習慣病検診」を延べ28日間実施し、1,181名が受診。

V 人材育成と雇用対策

～セミナー・研修・資格検定を幅広く開催～

1 資格検定試験の実施

企業の求める実務能力、即戦力として活躍できる人材の育成を支援するため、珠算能力検定、簿記検定、ビジネス実務法務検定など全11検定を実施、延べ11,378名が受験。

2 KCCI企業家カレッジの実施

企業経営の様々な課題解決に向け、経営者向け講演、実務知識、経営革新等のセミナーを開催、セミナー後、会員同士の交流・マッチングの場を提供。

3 川崎インターンシップ事業

市内の8大学から志願学生89名、参加企業36社（会員企業）にて実施、就労体験を通じて社会人としての心構え、マナー等を実践的に体験。

KCCI企業家カレッジ
経営革新セミナー

4 キャリアアップ研修会の実施

新入社員教育研修会、若手・中堅社員ブラッシュアップ研修（リーダーシップ研修会）、短期集中簿記講座（2講座、各3会場）など、人材育成に向けた講座を開催

5 婚活事業の実施

中小・小規模企業が抱える後継者問題の解消や従業員の定着率を高め、地域・企業の活力を見出す会員サービス事業の一環として、出会いの場創出イベントを実施。

- ・参加者 男性 22社27名、女性 20社26名
- ・マッチング結果 3組



新規事業の婚活事業

VI 会議所活動基盤の強化

～産業振興拠点としての会館活用と支所機能・広報の強化～

1 部会活動の活性化

- ・各部会・分科会単位や複数の部会と連携した講演会、視察会を実施し、部会運営の充実を図った。
- ・サービス業部会・理財部会合同で、土業研究会（4研究会）を立ち上げ、各課題解決に向けた将来展望・関係者の啓発・学習・情報交換を経て、成果を公表することを目的に研究活動を実施。

2 支所機能（全区7支所）の強化

市内7つの区全てに支所を設置し、利用者の利便性を図ると共に、地域に密着した中小企業応援センターとして、中小企業・小規模企業にとり、身近な経営相談体制を整え、支所毎のセミナーや会員交流会を28回開催。

3 会館の活用

- ・KCCIホール（貸会議室）、KCCI TOP LOUNGE（会員サロン）及び12階パソコン教室の運営により会員サービス、人材育成を図ると共に財政基盤の安定を図る。
- ・平成28年1月5日には、会員賀詞交換会が開催され、延べ800名が参加し、新春の交流を実施。
- ・会議室・ホールを当所主催「KCCI企業家カレッジ」や「検定試験」の会場として、会員交流、人材育成の場としても活用。

4 情報発信の強化

- ・商工会議所の事業や会員企業の情報発信、中小企業向けの施策などについて、機関誌「かいぎしよ」を定期的に発行、会員並びに行政機関、関連機関に配布。年10回、各回5,900部発行。
- ・セミナー開催その他お役立ち情報をメールマガジンで配信するサービスを提供、延べ35回配信。



第2・3工業分科会
スリーエムジャパン(株)視察



川崎フロンティアビル



機関誌「かいぎしよ」